

カリフォルニアの風

「出会いを大切に一年に」

令和8年度のサンフランシスコ日本語補習校が始まりました。

4月4日、本校では着任式・始業式・入学式を行い、幼稚部から高等部まで、それぞれ新しい一歩がスタートしました。新しい先生やクラスメートとの出会いに、期待を膨らませている人もいれば、少なからず不安を感じている人もいることでしょう。

「一期一会」という言葉があります。

一つひとつの出会いは、一度きりのかげがえのないものです。同じクラスになった仲間との出会いもまた、大切な縁です。すでに親しい友だちがいる人もいれば、これから関係を築いていく人もいます。感じ方や状況は一人ひとり異なりますが、大切なことはこれから先、どのように関わっていくかです。

クラスが居心地よく楽しい場所になるかどうかは、誰かに任せるのではなく、一人ひとりの行動や姿勢に大きく左右されます。相手を思いやる気持ちや、協力しようとする小さな一歩が、安心できる雰囲気を生み出していきます。そうした積み重ねが、やがて大きな信頼へとつながっていくことでしょう。

新しい一年は、まだ始まったばかりです。年間43日という限られた授業日の中で、一人ひとりが出会いを大切に、互いに支え合いながら日々を過ごしていくことを願っています。そして、年度の終わりには「このクラスでよかった」と心から思えるような、かけがえのない仲間との関係が築かれていることを期待しています。

保護者の皆様には、本年度もお子様の成長と学校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



【4/4幼稚部入学式の様子：幼小部SJ校】

文科省からの新派遣教員紹介 教頭 秋山 真一 「よろしくお願いします」

東京・八王子から来ました、秋山真一と申します。以前、夜間中学という、夜に学ぶ学校で、さまざまな背景をもつ方々の学びに関わってきました。そこには、80代で初めて中学校に入学した方がいます。戦争の影響で子どものころに学校へ通うことができず、長い年月を経て「学び直したい」と入学されました。その方にとって数学は決して簡単ではなく、何度も同じところでつまづきます。それでも、いつも笑顔で「学ぶことは楽しいですね」と話していました。その姿と言葉が、今も強く心に残っています。



学ぶ楽しさは、年齢や環境に関係なく、誰にとっても大切なものです。サンフランシスコ日本語補習校で学ぶみなさんは、平日と土曜日、二つの場で学び続けています。それぞれの学校で、自分なりの「学ぶ楽しさ」をぜひ見つけてください。これから、みなさんの歩みを大切にしながら支えていきます。ともに学ぶことを楽しんでいきましょう。

入学式での最高学部生（高等部2年生）からの新入生歓迎メッセージ

高等部の新入生の皆さんに送られたメッセージですが、各校の皆さんが補習校生活を送るうえで、参考になる内容が含まれていると思います。ぜひ、ご一読ください。

中高部サンフランシスコ校 「新入生歓迎の言葉」 高等部2年代表 ベルチャー 美空 さん

高等部新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高等部二年一同より心からお祝い申し上げます。

今、皆さんはどんな気持ちですか？緊張していますか？ワクワクしている人もいれば、「眠い」「学校がまた始まる、いやだなー」と思っている人もいると思います。私も一年前同じことを思っていました。でも、今振り返ると、中学校の入学式と高校の入学式で、全く違う気持ちを抱えていたように思います。中学校のときは友達ができるのか不安でいっぱいでしたが、高校に入学したら、その不安は同じクラスメートと楽しい時間が過ごせる安心感と楽しみに変わっていました。

高等部では、中学で勉強できないような面白い活動が待っています。例えば、私たちは去年、広島県の高校生とグローバルプロジェクトを行いました。実際に会えなくても動画交換で日本の高校生と交流ができる面白い経験でした。

もちろん、学年が上がると、現地校とのバランスや部活動や習い事で忙しくなったり、勉強が大変で「辞めたい」と思う時があるかもしれません。

そこで皆さんにちょっとしたアドバイスをしたいと思います。それは、すべてを完璧に目指そうとしないことです。困ったときは、一人で抱え込まずに私達先輩や先生を頼ってください！高校生活は、自分から行動すればするほど面白くなります。少しの行動でも、何気ない休み時間の会話でも、学校生活が楽しくなるでしょう。

ですから、最後の二年間、思いっきりみんなで仲良く行動し、たまには踊って、最高に楽しい高校生活を送りましょう。（一部抜粋）



【4/4 入学式の様子：中高部SF校】

中高部サンノゼ校 「新入生を迎える言葉」 高等部2年代表 外山 梨里花 さん

今日から高校一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます！在校生を代表して、心より歓迎いたします。

みなさんは今どのような気持ちでしょうか？

私は一年前、この入学式に足を踏み入れたとき、心臓がバクバクして、とても緊張していました。中等部の卒業式から一ヶ月しかたっていないのに、なぜか周りのみんなが急に大人になった感じがして、頭の中が心配で爆発しそうでした。しかし、そんな緊張は教室に入った途端すぐに消えました。先生はとても優しく、クラスメートはとても元気で、個性的な子がたくさん集まったクラスだったのです。（中略）

きっとみなさんもこれから新しいクラスで楽しい出会いがたくさんあることでしょう。

先輩として私からみなさんにアドバイスが一つだけあります。それは、とりあえず来ることです。「え、それだけでいいの？」と思うかもしれませんが、はい、それだけでいいのです。補習校に来るのは当たり前、と思っている人は多いでしょう。しかし、「せっかく土曜日なのに早起きしたくない、現地校の宿題もあるのに。」と毎週葛藤がある人も多いと思います。

実は私は朝が大の苦手です。毎週朝八時に親に「早く起きなさい」と言われ、十分後に起きて、「面倒臭いなー」と思いながらぐだぐだ準備をして学校に登校します。ですが、実際授業を受けると「あれ、意外と面白い」と思い、クラスメートと楽しく過ごして土曜日が終わります。気がつけば、昨年度は補習校を一日も休みませんでした。もちろん、勉強や宿題も大事とはいえ、まずは学校に行けば何かしら楽しいことが見つかります。「あと二年間は長い」と感じている人もいるかもしれませんが、私も一年前の入学式のときそう思いました。しかし、あの入学式は昨日起きたかのように一年はあっという間に過ぎ、最後の一年となりました。

そんな日々が積み重なり、私たちは今ここにいます。これは誇りに思うべきことです。今の時間を楽しんで、高校生活を一緒に頑張りましょう！（一部抜粋）



【4/4 入学式「新入生入場」直前の様子：中高部SJ校】

1 学校教育運営の基本方針

本校は、日本語による教科学習や日本の学校行事を通して、日本の学校生活や社会に円滑に適応するための基礎を育むとともに、日本語および日本文化への理解を深める教育を推進する。

また、さまざまな環境で育つ子どもたちに対し、日本の学校教育を実践する中で「日本語を用いて自ら考え学ぶ力」「異なる環境や文化を尊重し受け入れる姿勢」、そして「個性を生かし、自らの生き方を切り拓く力」を育成する。

さらに、これらの教育を基盤に、在外教育施設としての特色も生かし「多様な人々と協働して生きる力」の育成を目指す。

2 学校教育目標

『日本語で学び考え、多様な人々とともに生きる力の育成』

令和8年度より、これまで培ってきた「日本語で学び考える力」や「日本文化への理解」を基盤にしながら、多様性が一層広がる社会の中で、他者と関わり、協働しながら生きていく力の育成をより明確に位置付けました。

3 令和8年度の重点目標

「日本語で学ぶ楽しさを感じる学校」 ～子どもが主体の授業・行事、仲間との協働を通して～

令和8年度は、授業を中心に、行事や仲間との関わりも含めた学校全体を学びの場「日本語で学ぶ楽しさを実感できる場」として捉えていきます。

子どもたちが、授業や活動、行事で主体となって考え、表現し、協働する経験を重ねることで、日本語で学ぶ喜びや達成感を高め、土曜日の補習授業校として、「来てよかった」「また学びたい」と感じられる学校づくりを目指します。

4 重点取組（「」内はねらい）

※ 学校教育目標と令和8年度の重点目標の実現に向けて

- 4-1 日本語の活用 「日本語力を高めるために」
- 4-2 授業力の向上 「個に応じた学力を高めるために」
- 4-3 児童・生徒活動の充実 「自己有用感を高めるために」
- 4-4 児童・生徒指導の充実 「よりよい支援を行い、社会性を育むために」
- 4-5 校務運営の改善 「効率的な学校運営を推進するために」



【4/4入学式後の新1年生学級開きの様子：幼小部SF校】